

令和4年度 総合型選抜（A0型選抜）

（水産学部水産学科）

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで問題用紙を開かないこと。
2. 解答時間は90分である。
3. 問題用紙は2枚、解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚である。落丁、乱丁、印刷の不鮮明なものがあったら申し出ること。
4. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
5. 解答は、必ず解答用紙の所定の欄に記入すること。
6. 解答は、解答用紙に横書きし、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きで記入すること。
7. 解答に字数制限がある場合には、句読点の1字分や単位（例：kg）は1マスとすること。
8. 試験終了後、解答用紙、問題用紙、下書き用紙を回収するので、持ち帰らないこと。

問題

問題1.

図1は、2005年から2019年間のマイワシ、サバ類、サンマ、スルメイカの4魚種の漁獲量と主要産地における単価の推移を示したものです。これらの図から魚種ごとの漁獲量と単価の推移をまとめ、4つの図から読み取れる漁獲量と単価との関係について、300字以内で説明しなさい。

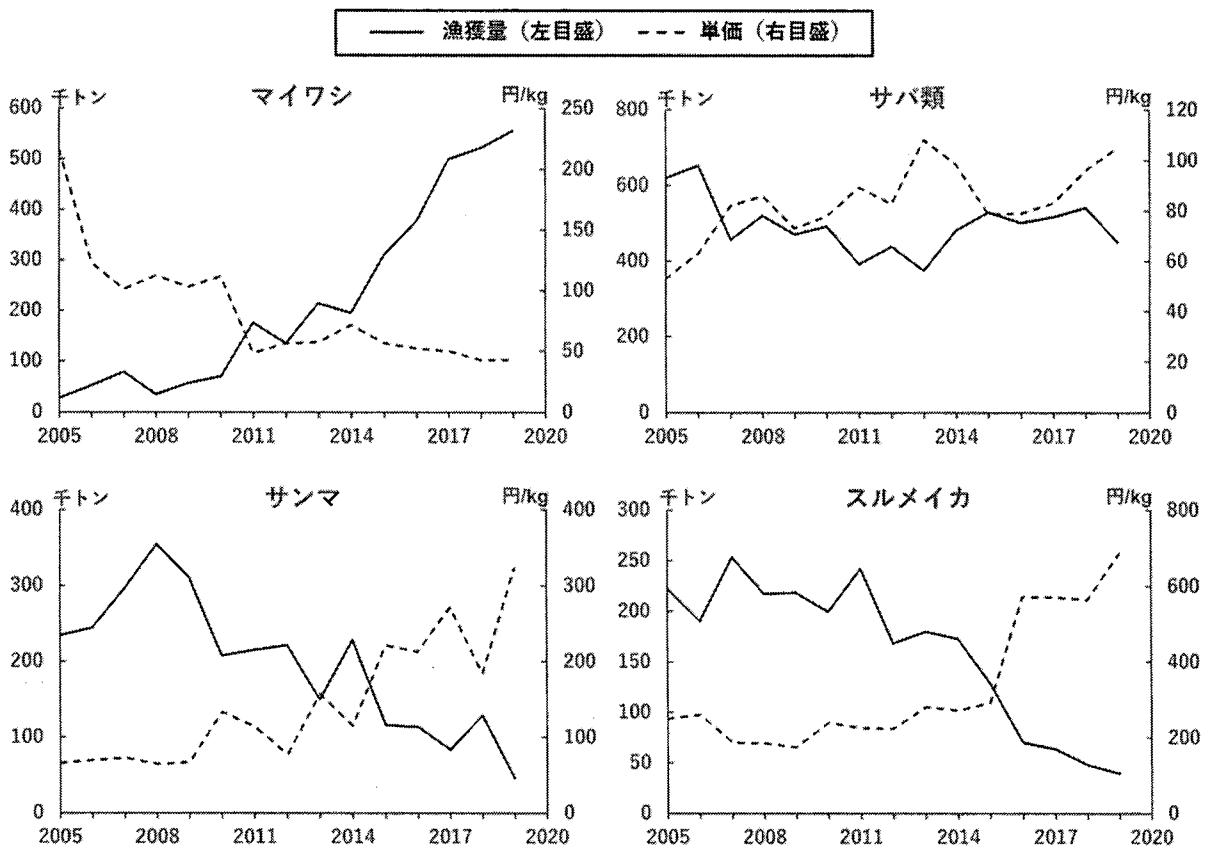


図1 マイワシ、サバ類、サンマ、スルメイカの漁獲量と主要産地における単価の推移

資料：令和2年度水産白書を一部改変

問題

問題 2.

図2は、日本における1人1日当たりの魚介類摂取量を平成10年(1998年)から平成30年(2018年)にかけて、年齢階層別において示したものです。この図をよく見て、以下の設問2-1および2-2に答えなさい。

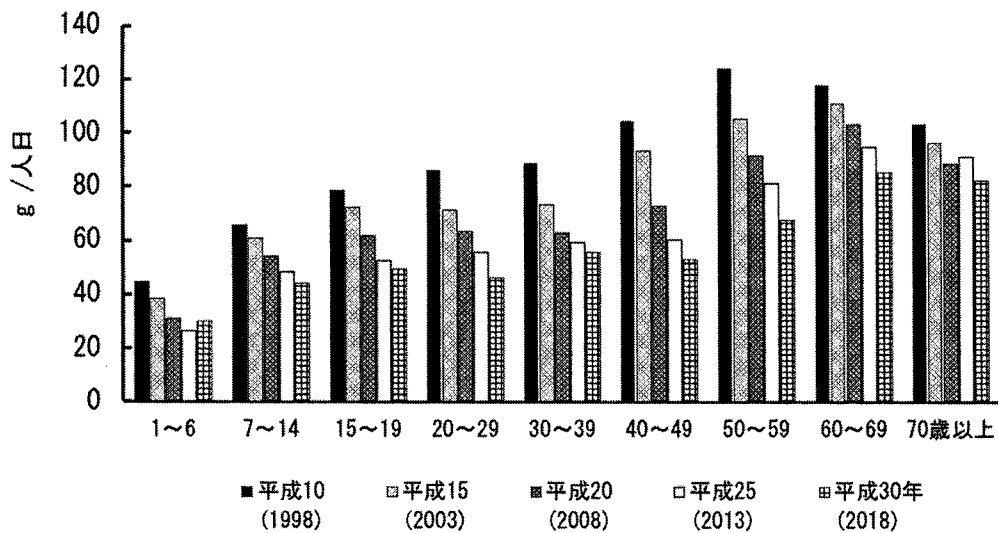


図2 年齢階層別の1人1日当たり魚介類摂取量の変化

資料：令和2年水産白書に基づき作成

設問 2-1

この20年間の魚介類摂取量の変化を年齢階層間で比較し、その特徴を200字以内で説明しなさい。

設問 2-2

平成10年に年齢が7歳及び40歳であった人の魚介類摂取量が10年後（平成20年）および20年後（平成30年）に年齢変化に伴ってそれぞれどのように変化するかについて、120字以内で説明しなさい。